



第18回 とちぎアビリンピック

10 データベース競技課題A

1. 課題

- 1) 競技Aは公開問題であり、競技当日は課題Aの使用の一部を変更して課題B（競技課題）とする。
- 2) 人材管理システムを、後述する仕様に基づいて作成しなさい。
 - 課題1. 「会員管理システム.accdb」という名前で、新規にデータベースを作成すること。
 - 課題2. 新規テーブルへ配布されたデータをインポートし、適切な主キー、インデックス、データサイズなどを設定すること。
 - 課題3. テーブルにフィールドを追加し、データを入力すること。
 - 課題4. 各テーブル間にリレーションシップを作成すること。
 - 課題5. レポートに使用するクエリを作成すること。
 - 課題6. サブフォームを含むフォームを作成し、タブを使った画面を追加すること。
 - 課題7. 作成したフォームからデータを更新すること。
 - 課題8. レポートで宛名ラベルを作成すること。
 - 課題9. マクロを使用し、メニューフォームを作成すること
 - 課題10. メインメニューフォームは、会員理データベースを開いたときに、最初に表示されるように設定し、ナビゲーションウィンドウを非表示に設定します。

【注意点】

- ※1 審判は登録されたデータの有無、使われている ACCESS の機能、可視性（画面の見やすさ）、操作性（操作のしやすさ）、機能性（処理の正確さ）を採点する。
- ※2 可視性・操作性とは、審判は操作マニュアルがなくても、操作が可能なことを指すこととする。ただし、Windows OS 基本操作はできることが前提とする。
- ※3 審判が採点時においてデータ更新及び印刷処理の前に ACCESS が自動表示するダイアログが表示される場合は、課題毎に減点の対象とする。

2. 競技時間

2時間30分

3. 課題提出方法

競技者は、完成した作品（未完成作品も含む）を大会主催側の用意する外付けのUSBメモリに保存し提出する。なお、作品を保存したUSBメモリは、競技時間終了と同時に大会関係者が回収する。

4. 注意事項

- (1) 会員基本情報.xlsx、講座マスター.xlsx、受講履歴.xlsx ファイルは事前に配布されるファ

イルを使用すること。

- (2) 競技中に万一機器が故障した場合は、審査員の指示に従うこと。
 - (3) 競技が終了したら審査員に申し出る。
 - (4) 競技場での座席位置は、予め審査員が決定しておく。
 - (5) ノートやメモ紙、参考図書、CD-R、USBメモリ等の持ち込みは不可とします。
- (注) パソコンに導入が必要なパソコン操作支援技術（ハード及びソフト）を必要とする場合は、事前に事務局に申し出ること。それらは原則、競技者自身がパソコン操作支援技術を持参し、前日に競技委員立ち会いのもと導入する。ただし、導入に関して不具合があっても特別な配慮はしないこととする。

5. 競技会場に準備してあるもの

- (1) O S: Microsoft Windows 7
- (2) データベース: Microsoft Access2016 ← 訂正箇所
- (3) P C: Windows PC
- (4) USB メモリ: 8GB 以上

6. 課題の詳細仕様

課題2. 新規テーブルへ配布されたデータをインポートし、適切な主キー、インデックス、データサイズなどを設定すること。

- (1) Excle ファイル「会員基本情報.xlsx」データをインポートし、主キー、インデックスを下記表のとおり設定し、テーブル「会員基本情報」として保存する。
データサイズを下記表の通り設定すること。

フィールド名	データ型	フィールドサイズ	インデックス
会員番号 (主キー)	数値型	長整数型	はい (重複なし)
氏名	短いテキスト型	30	いいえ
生年月日	日付/時刻型	10 (yyyy/mm/dd)	いいえ
入会日	日付/時刻型	10 (yyyy/mm/dd)	いいえ
退会日	日付/時刻型	10 (yyyy/mm/dd)	いいえ
会社名	短いテキスト型	30	
備考			
会員番号 (主キー)	数値型	長整数型	はい (重複なし)
郵便番号	短いテキスト型	30	いいえ
住所	短いテキスト型	30	
電話	短いテキスト型	30	
E-MAIL	短いテキスト型	30	
DM 希望	数値型	長整数型	
連絡番号	短いテキスト型	30	いいえ
緊急時連絡先	短いテキスト型	30	いいえ

続柄	短いテキスト型	30	いいえ
----	---------	----	-----

- (2) Excle ファイル「講座マスター.xlsx」データをインポートし、主キー、インデックスを下記表のとおり設定し、テーブル「講座マスター」として保存する。

データサイズを下記表の通り設定すること。

フィールド名	データ型	フィールドサイズ	インデックス
講座コード(主キー)	数値型	長整数型	はい (重複なし)
講座名	テキスト型	30	いいえ
受講料	通貨型	30	いいえ

- (3) Excle ファイル「受講履歴.xlsx」データをインポートし、主キー、インデックスを下記表のとおり設定し、テーブル「受講履歴」として保存する。

データサイズを下記表の通り設定すること。

フィールド名	データ型	フィールドサイズ	インデックス
会員番号(主キー)	数値型	長整数型	はい (重複なし)
受講日時	日付/時刻型	10 (yyyy/mm/dd)	いいえ
講座コード	数値型	長整数型	いいえ
講座名	短いテキスト	30	
料金	通貨型	30	

課題 3. テーブルにフィールドを追加し、データを入力すること。

- (1) 「会員基本情報」テーブルに下記フィールドを追加すること。

フィールド名	データ型
写真	添付ファイル型

- (2) 追加した「写真」フィールドに下記データを入力すること。

レコード	社員番号	データ
1 レコード目	101000	101000.png
2 レコード目	202000	202000.png

課題 4. 各テーブル間にリレーションシップを作成すること。

- (1) 図-1のように、リレーションシップを設定し、参照整合性も設定すること。

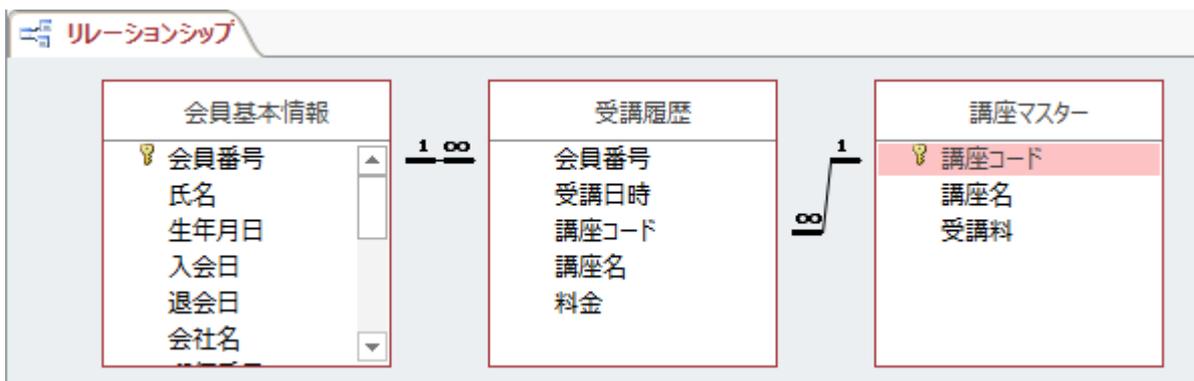


図-1

課題5. レポートに使用するクエリを作成すること。

- (1) 大会当日に指定された印刷条件でレポートを、作成するためのクエリを作成すること。

課題6. サブフォームを含むフォームを作成し、タブを使った画面を追加すること。

- (1) 図-2を参考に、フォームを作成すること。

会員情報

会員番号

氏名



基本情報 | 住所・連絡先 | 緊急時連絡先

生年月日

入会日

退会日

会社名

備考

受講履歴のサブフォーム

会員番号	受講日時	講座コード	講座名	料金
101000	2019/04/01	5	加圧トレーニング	1500
101000	2019/04/04	5	加圧トレーニング	1500
101000	2019/04/10	8	気功	2000
101000	2019/04/15	5	加圧トレーニング	1500
101000	2019/04/20	5	加圧トレーニング	1500
* 101000				

レコード: 1 / 5 | フィルターなし | 検索

メニューへ戻る

図-2

- (2) 住所・連絡先タブを選択すると、住所・連絡先テーブルの郵便番号、住所、電話、E-MAIL、DM希望を表示すること。
- (3) 緊急時連絡先タブを選択すると、緊急時連絡先テーブルの連絡番号、緊急時連絡先、続柄を表示すること。

- (4) サブフォームの講座コードはコンポボックスに、講座コード、講座名、料金を表示して選択させる。

課題7. 作成したフォームからデータを更新すること。

- (1) 作成したフォームを使用し、最終レコードに下記データを追加すること。
 (2) 基本情報テーブルの生年月日、入会日、退会日入力時に、カレンダーから入力できることを確認すること。

	フィールド名	データ
会員基本情報	会員番号	606000
	氏名	蒼井 新太
	生年月日	19910103
	入会日	2019/07/07
	退会日	
	会社名	レモン
	備考	
	写真	
	郵便番号	329-0001
	住所	栃木県宇都宮市横山町
	電話番号	028-638-2525
	E-MAIL	aoi@gmail.com
	DM 希望	1
	連絡番号	0286-638-1515
	緊急連絡先	蒼井 すみれ
続柄	母	
受講履歴	会員番号	606000
	受講日時	2019/07/07
	講座コード	8
	講座名	気功
	料金	2000

課題8. ラベルを作成すること。

大会当日に指定された印刷条件で、ラベルを作成し印刷プレビューで確認できること。

課題9. マクロを使用し、メニューフォームを作成すること

- (1) 図-3を参考に、メニューフォームを作成する。
 (2) 会員情報表示 ボタンをクリックすると、課題6. で作成したフォームが表示される。
 (3) レポート表示 ボタンをクリックすると、課題8. で作成したレポートのプレビューが表示される。

(4) システムの終了ボタンをクリックすると、ACCESS が終了すること。

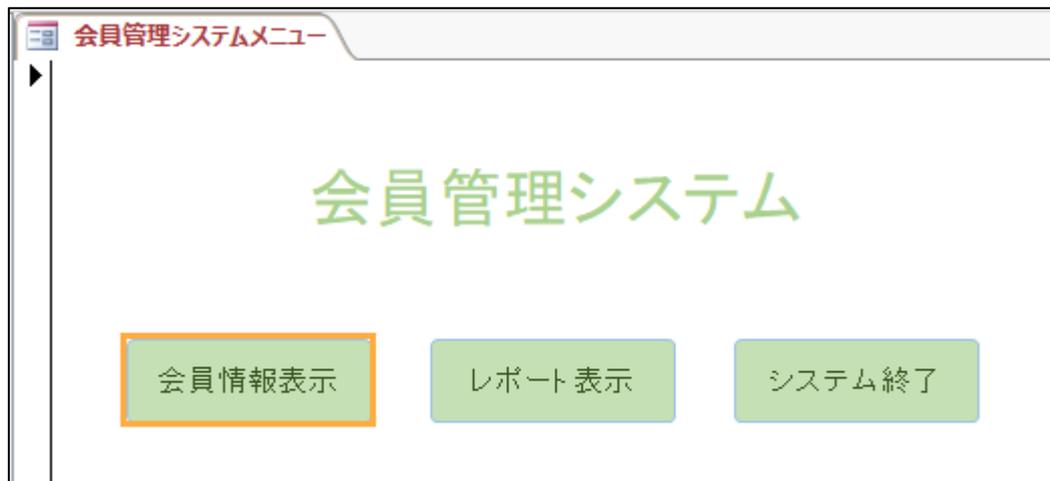


図-3

課題 10. 課題 9. で作成したメニューは、会員管理データベースを開いたときに、最初に表示されるように設定し、ナビゲーションウィンドウを非表示に設定すること。